



平成25年度

# 本部研修会

平成25年7月4日(木)  
徳島グランヴィリオホテル  
受講者：148名

研修委員長 張 裕信 (㈲清福不動産)

宅地建物の取引における最近の苦情・紛争相談の内容を見ると、不動産の対象物件や取引態様の多様化等に伴い苦情・紛争の内容が一段と複雑かつ深刻化しており、その原因には宅建業者の業務に関わるものが最も多くなっています。私たち業者が消費者から信頼を得るためには、不動産取引に関わるトラブルの防止が必要となっております。

こうしたことを踏まえ、平成25年7月4日(木)午後1時30分より、徳島グランヴィリオホテルに於いて、第一部研修は「トラブル事例とその防止策について」と題して、大分県の宅建協会会長であり、全国宅地建物取引業保証協会の弁済業務委員長も務められている、土屋祐二氏を講師としてお招きし、ご講演をして頂きました。

また、本格的な人口減少時代を向かえる等、社会情勢の変化を受けて我が国では「新築供給政策」から「住宅ストック」へと住宅政策の見直しが行われ、ストック活用の観点や市場の成熟段階を踏まえた中古住宅市場の整備が図られています。

そうした中で私たち宅建業者に於きましては、中古住宅の売却依頼を受けた際の極めて重要な価格査定、とりわけ戸建住宅の具体的査定方法について「戸建価格査定マニュアルに基づく査定手法」と題した第二部研修を公益財団法人不動産流通近代化センター企画調査部調査役の富永剛氏を講師としてお招きし、価格査定マニュアルに関する説明をして頂きました。



第1部講師：土屋祐二氏



第2部講師：富永剛氏

